

しらおが男女共生広報紙

ハーブテイ

2004.9

Vol.12

ひとひと
～女と男をかながえる～



『ありがとう』の言葉が大切

私は“ありがとう”の言葉を大切にしています。

息子夫婦、孫二人と同居してみて、子育ての大変さが身にしみています。

息子も私の若い時と同じく、会社の仕事に追われ、深夜の帰宅で子育てが妻にまかせっきりです。

知らない間に子どもたちが育ってしまった。今になって妻の大変さがわかり、感謝の気持ちで一杯です。

遅まきながら「当時は大変だったね、ありがとう」と言っています。

今回ご登場いただいたお二人は、それぞれ、こう答えてくれました。

(編集委員 太田匡俊)

家族が一緒にいるとき、『一家団らん』が最も大切です。



いしい ジェリーさん
(千駄野在住)

国際結婚での大きな壁は、やはり「言葉」の違い。

フィリピンの大学を卒業後来日し22歳で結婚。結婚当初、ほとんど日本語が話せないため、夫とは英語で会話。

日本語スクールに通い、3年でマスター。親戚に「白岡に慣れたんべえ」と聞かれ、全く意味が分からず困ったという思い出も今では笑い話。

子どもの誕生に最も感動した。

二人の息子に対し、常に平等に接することを心がけている。大学までは行かせ、学歴をつけて欲しいと願う。

日本の物語を英訳して話してくれたり、日本語のマスターに対する夫の協力は大きかった。

家事・育児に関しても、頼めば何でもこなしてくれる。家族が一緒にいる時間“一家団らん”を一番大事にしている。

未来に続く、いまを精一杯！ パートナーとともに

フィリピンとは「家族」に対する概念が全く違うことを実感。

日本は“外孫・内孫”という言葉があったり、後継ぎ問題など長男の存在が大きい。お祝いごとでも極端に違う。



フィリピン・Masbate (マスペート) 出身
*Masbate (マニラから飛行機で1時間、船18時間の島)
1989年来日、白岡町16年在住。
日本人の夫、長男中2、次男小6の4人家族
現在、白岡国際交流会日本語教室のスタッフ。

また、一年中25°C~35°Cのフィリピンで育ったため、日本の冬の寒さには驚いた。

日本で初めて雪を見た。毎年“しもやけ”に悩まされ、寒さ対策には苦労したという。

フィリピンでは映画館があちこちにあり、毎週のように家族や友達と観に行った。白岡にも映画館があったらいいなあといつも思う。

しかし、東京や高速道路にも近いし、比較的住みやすい町だという。

今はピアノを習いたいと、チャレンジ精神旺盛な元気な女性だ。「私はポジティブ！」とにっこり笑った。

取材をおえて

『ジェリー頑張っ！』
間もなく、私も二児の母親になる日が近づいています。
ジェリーが母親になった時の感動は、女性としての自分に贈る賛辞なのかもしれない。
追いつけ、追い越せ！ ジェリーは私の羅針盤

(編集委員 石井久美子)

かくし事をしないと約束してます。

まつはたすが こ
松畑清子さん (西在住)

結婚願望は0。ひとりで生きていけるのなら、それはそれでいいと考えていました。

夫は私と正反対な性格の人で、時間の流れ方が違ってたんです。自分がつまずいたとき、「新幹線で行くよりも、路面電車で行くほうがいい！」と言ってきて、こんなふう生きていくのもいいかな… と思い、30歳で結婚しました。

ケーキ作りが、大好き。夕食後お風呂に入って、そのあとで手作りのデザートで、ちょっとしたことを話せる時間をすごす。

お互いにうそをつかない、かくし事をしないと約束をしています。



白岡町出身、結婚して3年
目の2歳の女の子の母。
3人家族

子育ては、子どもが甘えたい時にはギュッ！ と抱きしめてあげたい。だから一緒にいる時は“化粧をしない！ 気取った服を着ない！”と決めています。

親の高望みといわれるような事は考えていません。自分のことが言える、コミュニケーションがとれるようにしていきたい。子どもがシグナルを送れるような環境にしたい。

変な道にそれないようにしたい。

もし、万が一それるようなことになっても、戻れるようにしてあげたい。

仕事は、したいです。仕事をする事で自分らしさが欲しい。〇〇ちゃんママではなく、□□さんと呼ばれる時間が欲しいです。



子どもが7ヶ月まで仕事していました。面倒を見てくれた母がダウンしてしまったので、やめることを決意しました。保育所も空きがありませんでした。

今一番したいことは、子どものことを気にしないですむのなら、一日中、油絵を描いてみたいです。

最後に自分で働いたお金を使いたい！ 母でおわりたくない！

取材をおえて

とても暖かい家庭を想像できました。相手の気持ちを考えてくれる、思慮深いパートナーと思いました。
瞳に微笑みが絶えないのは、心の奥からのサインなのではないでしょうか？ …清々しい取材でした。

(編集委員 鈴木多美子)

歩みよる努力を

お二人のお話を伺って、とても前向きに生活している姿に感動しました。

ジェリーさんの場合は、フィリピンから日本に来て、環境の違いに、さぞご苦労されたことでしょう。

自分も三人の子育てに追われた日々、振り返ってみると充実して、幸せでした。

長年連れ添うと、夫に対する思いやりの心が薄れてしまい、自分自身反省をしています。

「せっかく赤い糸で結ばれた仲だから」せめてゴールデン・ウェディングを迎えるまで、歩みよる努力を、お互い様かな。

若さには、無限の力が潜んでいます。困難に屈しない、前向きなお母さん達にエールを贈らせていただきます。

(編集委員 佐藤君代)

白岡の赤ちゃん、大集合

10か月健診におじゃましました

のびのびと活発な

明るくてやさしい

近くに同じ年の
の子がいないので
同年代の子を見
ると、同じよう
に育てているの
でホッとす

強く
やさしい
女の子に

健康で
元気で

女優になって
欲しい

みんなから
愛される

好きな
事をして
欲しい

意思を尊重
して、やり
たいことを
やらせて
あげたい

大きな
病気を
しないで
欲しい



思春期を迎えるころに、母の愛に気づく追憶の葉にと…
撮影 July.27'04 (編集委員 落合利次)

みんなのびのび元気に育て!! 毎日楽しくすごせるといいね。
保健センターからのエール

きらっと輝いて! 白岡国際交流会



代表 飯島ヒラコ

白岡国際交流会は“近隣在住の外国の方との異文化交流を図ること”を目的にスタートして4年目を迎えます。

毎月1回のオープンサロンと毎週2回の日本語教室を開催しています。

オープンサロンではフリートーク、各国の文化・伝統・料理の紹介などを行い、日本語教室では仕事で日本に来た方、日本人と結婚した方などが日本語を学んでいます。

数名でスタートした会員も今は約50名となりました。皆様のご協力のお陰と心から感謝しています。

私たちには、会に参加した人たちの笑顔が、何よりの喜びで励みとなっています。今後も地域活動を通して、更に交流を深めたいと考えています。

日本語を学びたい外国の方、異文化交流を図りたい方、毎回出席できなくても結構です。ご参加をお待ちしています。

問合せ先 広聴広報課 TEL (92) 1111

はじめまして、どうぞよろしく!



初めてのチャレンジ、改めて考えさせられることで一杯です。
編集委員長 鈴木多美子



女性編集委員のパワーに圧倒されたルーキーでした。
編集副委員長 太田匡俊



まだまだ出産・育児で行動範囲が狭まることはあっても、やはり前向きな気持ちが大事。
編集委員 石井久美子



生きた取材記事で、紙面に臨場感と躍動感を…と思いつつもゴールは遠い。
編集委員 落合利次



初めての経験だった、不安でしたが楽しく参加しています。
編集委員 佐藤君代



癒し、共生がテーマのイラスト。毎号お楽しみに。
編集委員 油井久美子

発行
編集

白岡町広聴広報課 TEL 0480(92)1111 内線 354
FAX 0480(92)9096
E-mail kouhou@town.shiraoka.saitama.jp

しらかが男女共生広報紙編集委員会
ご意見、ご感想をお待ちしています。

地球環境保護のため再生紙を使用しています。